

大阪保険医雑誌2000年総索引

2000年1月号～12月号（通巻396号～406号）

表紙写真

1月号	夜明け	加藤甫明
2・3月号	大阪城梅林	三好宏和
4月号	花が咲いた	森田重治
5月号	ベンガラの町	近藤宏和
6月号	尾瀬の水芭蕉	新山昭次
7月号	森になったエキスポ 70	森田重治
8・9月号	カカシの里	楠 研二
10月号	夕暮れ	神野健栄
11月号	秋	吉田一雄
12月号	トルコの奇観	武田貞彦

ピープル

1月号	2000年初めに思うこと	桜井郁子
2・3月号	マンションの明日を支える	岩田岳士
4月号	亭主と医者と妙な夫婦	富樫南湖
5月号	モスクワであった本当の話	島 桂一
6月号	自然にふれて学びませんか	田村正一
7月号	滝沢修先生のこと	田口俊英
8・9月号	心癒すデザイン求めて	玉登ゆかり
10月号	写真の魅力、楽しみ方——番外編	綾 智佳
11月号	新世紀と宝石の未来	中村正憲
12月号	マスコミは21世紀に生き残れるか	秦 洋一

なにわ医見

1月号	秒キザミと惚けた時
2・3月号	移り変わる精神科患者
4月号	伝統医療としての漢方
5月号	高コスト医療のすすめ
6月号	身近なエコロジーパーク・里山
7月号	締め出しが放棄か
8・9月号	口では「御英霊」と言いながら
10月号	見せられるカルテ
11月号	国民も共感できる診療報酬を
12月号	本誌創刊400号をふり返って

特集

1月号 時

生物学から見た時	永井克也
文化比較から見た時の社会史	福井憲彦

飛鳥時代における時	林 直道
時——「12進法」世界の貴婦人	守田由雄
今	児玉貞介
何事にも“時”	二宮聖耳
ひとときの追想	堀辺四郎
ときを考える	金 英男
新春座談会「自然から恵まれし時」	
西海洋一/藤田和海/伊藤弘文/二宮聖耳/辻一省	

2・3月号 精神神経科・心療内科から見た現代日本	
心療内科から見た現代日本社会のストレス	中井吉英
中高年の自殺はなぜ多いか	西村 健
心療内科ってどんな科？	福永幹彦
精神科病院の新たな動きと課題	澤 温
「大阪精神病院事情ありのまま」を特集して	山本深雪
医者へのメンタルヘルス	田中迪生
しんどさを共感しあう街角医	三家英明
他科の先生にどう理解していただけるか？	稲垣俊雄
カウンセリングを志して	向井貞三
心の危機はとらえにくい	二宮聖耳
座談会「現代の心の危機をどう見るか」	
郭 麗月/田中英高/福永幹彦/野村拓	

4月号 保険診療から見た漢方薬

漢方薬の現代的意義	遠田裕政
EBMからみた漢方	大石光雄
漢方薬の処方を考える	別府宏園
漢方製剤の現状と課題	森山健三
審査委員からみた漢方薬	高橋邦明
漢方治療のむずかしさ	藤森 弘
不育症、不妊症への漢方療法の効果	假野隆司
生命する病人への生き生きした薬方	三谷和男
漢方薬のすすめ	黒瀬喜久雄
漢方薬と薬疹	田邊 昇
保険薬価収載の歴史とその課題	菊谷豊彦

5月号 医療における安全と安心

医療における安全とその現代的意義	村上陽一郎
安全学から学ぶもの	岡崎邦夫
求められる他産業のノウハウ活用	三宅祥三
「医療の質の評価委員会」をつくって	小林 晏
“新設医大病院”の条件を活かして	柿田 章
医療における安全と薬剤師の役割	澤田康文
住まいの安全どうはかる	足立 啓

6月号 なにわエコロジー

人間と環境	秋道智彌
花をめぐる環境民俗学	鳥越皓之
江戸農書から見立てる	徳永光俊
石見銀山から見た暮らしと環境	仲野義文
森の景観と暮らし	藤村美穂
大阪の水を考える	高井明德
協会が水問題に取り組んだわけ	橋口英夫
環境破壊的な河川事業をただす	中嶋 信
「環境先進国」オランダから学ぶ	角橋徹也
環境改善のための私の試み	今井安男
座談会「都市の暮らしと環境」	
藤井絢子/神吉紀世子/足高壱夫/岡崎邦夫	

7月号 動き始めた介護保険

介護・医療に関わる機関の連携強化へ	赤星伸一
認定審査会の一員として感じたこと	音田 篤
患者さんのQOLは改善	今村育男
計画通りだが、経営は“火の車”	中嶋啓子
QOLがいくらかでも改善	福田治男
切に求められる利用料減免制度	呉 海龍
「人の育成」が最大の課題	国領 徹
介護保険時代が始まった	植田 豊
「高辺プラザ」「高辺サロン」と介護保険	坂口隆啓
歯科から見た介護保険	金村福寿
ケアマネジャーから見た介護保険	高井孝子
インタビュー「NPOから見た介護保険」	
ネットワーク「ゆう」永野美恵子さんに聞く	聞き手/紀野正
インタビュー「自治体から見た介護保険」	
吹田市高齢福祉推進室に聞く	聞き手/中村厚

8・9月号 20世紀の検証

市民による核廃絶と地球市民の課題	アンジー・ゼルター
医師による戦争犯罪の克服	山口研一郎
“大國幻想”——石橋湛山と小國主義を読んで	植田 彪
映画「ひめゆりの塔」と沖縄	脇 雅子
出征した軍医たちの家族への手紙	小松良夫
鼎談「20世紀と原発」	
村田三郎/高木和美/岩本智之	
座談会「大阪——20世紀の検証」	
坂井尚美/澤田和子/武田勝文/川崎美榮子	

10月号 初めての電子カルテ

いまなぜ電子カルテか	笹川征雄
電子カルテの基礎知識	岡部 弘
電子カルテ——病院での導入経験	福田 隆
メーカーから見た電子カルテ	田代哲也
電子カルテの互換性を求めて	吉原博幸

インタビュー「ニーズのかたまり電子カルテ」
吉原正彦先生に聞く

聞き手/中村厚

インタビュー「医療サービス上げる電子カルテ」
松岡正己先生に聞く

聞き手/笹川征雄・森田重治

インタビュー「近代史の患部・結核を追求し続けて」
小松良夫先生に聞く

聞き手/長門谷洋治

11月号 医療の専門性から21世紀の診療報酬を問う

問われる医療労働の専門性	二宮厚美
マネジドケアと医療労働	高山一夫
世界が問う日本の診療報酬なぜ安い	野村 拓
需要・供給曲線から見た診療報酬のあり方	三谷一裕
インタビュー「内科専門医からみた診療報酬のあり方」	木野昌也先生に聞く

聞き手/中村厚

座談会「21世紀の診療報酬」

関 浩/高本英司/保川淳/高尾文介/辻一省

12月号 創刊400号の軌跡と新世紀の課題

自前のメディアを持つことの意味	野村 拓
1973年と現在 現代社会の位相	岡崎邦夫
期待されるハイブリッドな発展	二宮厚美
『大阪保険医雑誌』創刊の頃	竹内治一
共生の勇気の発見者でありたい	福中都生子
新たな『医者たちの8月15日』を	小松良夫
ビタミン再考	羽田 回
思い出すままに	松井幸民
過去から未来への願い	三好康夫
本誌とともに20年	守田由雄
皮膚科医の社会医療運動への参画	笹川征雄
自治体政策の転換へ	角橋徹也
国民的コンセンサス創造する時代	上原裕之
文芸ウラ話	野間 明
「旅靴」余滴	岩垣子鹿
座談会「新世紀の『大阪保険医雑誌』像求めて」	

テキスト

平井正也/辻一省/佐藤一夫/菊井知子/紀野正

1月号 高齢者診療の留意点	森本茂人
一般外来における直線偏光近赤外線治療器の応用	吉澤明考
2・3月号 内科で遭遇する見落としやすい救急疾患——急性膿症	梅村博也
勃起障害の診断と最新の治療	安本亮二
4月号 眼科領域における遺伝子治療	山本修士

	整形外科領域における最小侵襲手術	黒川正夫
5月号	C型肝炎の診断と治療	福田 彰
6月号	痴呆性高齢者診療における留意点	橋本篤考
7月号	内科で知っておきたい眼科の知識	名和良晃
8・9月号	肛門疾患の診断と治療—外来治療の工夫	稲次直樹
10月号	尿路結石の治療と再発防止	井口正典

なにわ友あれ

11月号	皮膚症状から全身疾患をさぐる	草壁秀成
12月号	内科に必要なうつ病の診断と治療	花田雅憲
1月号	マラソンと私	山本嘉治
2・3月号	パソコンと私	坂口道倫
4月号	酒と汗と仲間とラグビー	浦野 透
5月号	人生変えた空手『道』	八杉 誠
6月号	おじさんが友達増やすチャンス	堀 忠
7月号	私の囲碁仲間	中塚一郎
8・9月号	女性画の蒐集から日本画教室「最古参」へ	大月博視
10月号	『おわら風の盆』前夜祭撮影行	加藤甫明

ほんだな

11月号	見るよろこび、描くたのしみ	鈴木孝子
12月号	明日の人材育成をめざすM.I.C	伊藤智之
1月号	『生きててもええやん—「脳死」を拒んだ若者たち』	羽田 同
	『福祉力タカナ・ガイド』	佐藤一夫
2・3月号	『そして、干潟は残った』	紀野 正
	『日本の川を甦らせた技師デ・レイケ』	佐藤一夫
4月号	『近代漢方総論』	佐藤一夫
	『青春』	守田由雄
	『ピルの危険な話』	辻 一省
5月号	『葉の支配者』	田邊 昇
	『脳死・臓器移植拒否宣言』	羽田 同
6月号	『医者もつらいよPart4 くるとい柳』	紀野 正
	『コンピュータが子どもの心を変える』	森口久子
	『かけがえのない命よ』	西谷宣雄
7月号	『重度痴呆性老人のケア』	竹内治一
	『ケアマネジャー・ハンドブック』	坂口隆啓
8・9月号	『戦争と罪責』	西谷宣雄
	『大塩平八郎の乱』	美 湖
	『敗戦まで』	竹内治一
	『みみよりの話』	守田由雄
10月号	『世界のエッセシャルドラッグ』	高木英司
11月号	『輪廻の道』	竹内治一

各科情報

12月号	『大阪人物辞典』	美 湖
	『グリ、ときどきグランボー』	西谷宣雄
1月号	『現代的医療形態』が要求される時代	田邊 昇

2・3月号	致命的なインフルエンザとその予防	馬場宏一
4月号	名言『女性を診たら妊娠と思え』	高島正樹
5月号	“自殺者急増”	渡辺洋一郎
6月号	他科でのステロイド点眼液処方慎重に	A 生
7月号	いんきん—この難儀なもの	二宮聖耳
8・9月号	最近の診断・治療のご紹介	山口哲男
10月号	血糖チェックのすすめ2	増田一裕

こーひーぶれいく

11月号	学齢期に達した重度脳障害児の神経学的病態把握	杉本健郎
12月号	肛門直腸指診	坂口道倫
1月号	初辰さんと5円玉	野々村安啓
2・3月号	「自動車」とは何か	岡崎邦夫
4月号	新米開業医の独り言	酒谷省子
5月号	まずは細やかな危機感より	江尻新太郎
6月号	海へのあこがれ	岡本頼治
7月号	ピアノの溜め息	森田重治
8・9月号	開業して思うこと	八代典子
10月号	めざせ！歌って踊れるお医者さん	井上美佐

なにわの郷土史（三善貞司）

11月号	心も診れる小児科医に	島 純子
12月号	酔っぱらいの行動学	奥野奈津子
	227～236 なにわの伝説 81～90	
1月号	「光秀は死なず」	
2・3月号	「和泉府中の鳥の不倫」	
4月号	「四条畷の雁塔」	
5月号	「法明寺の雁塔」	
6月号	「楠葉の親乞薬師」	
7月号	「亀の恩返し」	
8・9月号	「惟喬親王と雉子塚」	
10月号	「疱瘡とのたたかい」	

岸野令子のあまのじゃく映画時評

11月号	「麻疹とのたたかい」
12月号	「コロリとのたたかい」
	～
2・3月号	「創造的精神が完成させる未完のシネマ」
4月号	「アメリカ的価値観を見直す時代へ」
7月号	「官能的でありながら清らかな映像」

わたしの文化評

8・9月号	「時刻表マニアが見つけた恋」	
12月号	「女性観の貧困が招く邦画の危機」	
1月号	「鉄道員」「秘密」	碧 川
5月号	「佐藤勝を偲ぶ」	富田和巳

6月号 「風がふくま」 「グリーンマイル」 碧 川

文 芸 「赤い夕陽と黒い大地」(竹内治一)

10月号 「スクリーン大型化の変遷」 富田和巳

11月号 「性同一性障害への理解と関心」 碧 川

4月号 「“ 知謀の人 ” 石原莞爾」

5月号 「運命の『九・一八』」

6月号 「高橋是清暗殺のウラ」

7月号 「薄儀のかつぎだし」

8・9月号 「ラストエンペラー」

10月号 「博儀の不満と不安」

医界雑録 (青柳精一)

11月号 「田舎教師」

12月号 「満州へ」

81~90

1月号 「留学生制度と邦人教官の誕生(上)」

2・3月号 「留学生制度と邦人教官の誕生(下)」

4月号 「今年の干支は『庚辰』」

5月号 「ユニークな医療史『消印は知ってた』」

6月号 「女医の要不要論争」

7月号 「和服と洋服の比較論考」

8・9月号 「洋服の登場とそれにまつわるエピソード」

10月号 「『東京帝国大学五十年史』と大久保利謙」

女の意外史 (菊井知子)

11月号 「帝国大学令の制定と高等学校医学部」

12月号 「不評だった初の日本医学会」

1月号 「留学生制度と邦人教官の誕生(下)」

2・3月号 「受験宿の“ 取り替え部屋 ”」

5月号 「泥棒あり 遠方より来る」

7月号 「老母哀感」

大阪の食と環境

8・9月号 「遺骨収集の人」

11月号 「ジョージア二毛作出産記」

6月号 大阪湾の魚と泉州の郷土料理

「大阪湾と大阪の食」 日下部敬之

「郷土料理に泉州の春を訪ねて」 守田由雄

「すっきりまるやかで渾然とした旨酒」 佐藤一夫

8・9月号 北摂の山々と夏祭り料理

「境目だけは伝えたい」 原田昭雄

「緑のコストを誰が支払う」 岡 悦男

「都市市民も参加して」 萩原 寛

「チッソ肥料ゼロの米づくり」 奥 義信

勝敗をさぐる (吉野俊宏)

「見山の夏祭り料理」 守田由雄

「里山と郷土料理」 中村 厚

273~282

1月号 新春対局

2・3月号 「アマチュア2段のチェコ少年奮戦記」

4月号 「お互いに勘違い？」

5月号 「キレないのにキレると思い込んで」

6月号 「競り合いには絶対に負けない」

7月号 「相手の強い場所では捨てて打つ」

8・9月号 「双方の根拠に関わる要点は急場中の急場」

10月号 「孤立した一子の攻めとさばき」

詰碁・詰将棋

11月号 「エグリと切断の見合いのデギリ」

12月号 「惜しまれるシチョウの見落とし」

ニューヨークレポート (丹司 紅)

1月号~12月号

本田邦久/有吉道夫

2・3月号 「アメリカの医療事情」

4月号 「ある邂逅—科学と美術」

5月号 「移民の国の医師卒後教育」

6月号 「現代時差ボケ考」

7月号 「暮らしのなかの『NYタイムズ』」

「臨床に役立つMEDLINEの文献検索」(老木浩之)

10月号 「あるニューヨーカーの死」

11月号 「女のくせに」

10月号 「よい論文を検索するためのキーワード」

てつやとさちの「オランダ熟年日記」(角橋徹也・佐智子)

11月号 「MEDLINEを知る」

12月号 「検索語の準備と検索の基本」

7月号 「まだ何かやれる」

8・9月号 「オランダはおいしい」

10月号 「オランダの住宅事情」

11月号 「オランダはアートの国」

12月号 「タブーのない国」